

JADCA 3カ年計画スケルトン

【会員共通の目的】

【目 標】

【課 題】

【具体的施策】

業界団体としての使命

市場の拡大

定期調査(調査→清掃)の法制化

清掃フィールドの拡充

技術力、信用力のUP

技術力の向上

JADCA知名度のUP

組織の拡充と組織力の発揮

組織としての一定規模の確保

国等への働きかけ

- 法制化の前提となる汚染評価基準の確立
 - 海外との連携(連帯と外圧期待)
 - ダクト清掃→空調システム全体での清掃管(室内の居住者、執務者の健康と安全を守る)
 - ターゲットの拡大
病院、高齢者施設、個人の居宅
 - 業界としての技術力のUP
 - 会員個々への支援
 - 対外広報・啓発事業の強化
 - ネットによる情報発信
 - 100社体制の構築
 - 支部組織の構築
 - 定期的清掃の法制化に向けての環境づくり
- ・ JADCA独自の資格制度(空調システム汚染診断士)の創設
 - ・ 国に近い外部団体との共同による評価基準の確立(20年度)
 - ・ 空調システム汚染評価委員会の開催
 - ・ 米国NADCA、上海SHADCA等との連携
 - ・ 各種委員会での調査研究
当協会名変更検討(20年度)
 - ・ JADCAセミナーによる啓発
日本医療評価機構、ハウスメーカーへの働きかけ
 - ・ 各種委員会で調査研究
JADCA標準仕様書の作成(20年度)
 - ・ 従事者研修の開催
会員向け各種研修
指導者養成講習、実践基礎コース(20年度)
 - ・ 書籍の発刊、各種セミナーの開催
 - ・ 当H.Pでの情報発信の充実
 - ・ 第一次、第二次会員増強運動
 - ・ 支部組織の検討(20年度)
 - ・ 国等の管理物件における「登録」要件化の要請
グリーン購入、環境マネジメントシステム(エコステージ)の取り組み